

進路便り Road to the Future No.9

進路希望調査

本日、進路希望調査を提出日でした。しっかり保護者の方と進路について考えられていますか。第5希望まですべて記入する必要はありませんので、今の段階でどう考えているかを、書ける範囲で記入できましたか。もちろん今後、希望が変わっても構いません。今の段階でどうかということです。進路希望調査のプリントでも示しましたが、担任の先生から書き方について話をされた人もいるかもしれません。

先週火曜日には、進路学活ということで、公立・私立、推薦・専願・併願などの違いについて学習をしました。また、進路は誰か（先生や、保護者の人など）に決められるものではありません。みなさん自身が根拠や意思をもって決めるべきです。つまり、みなさんが「どうでもいい…」など、進路展望を考えることをあきらめたり、無関心でいたりしていると、周りの人もサポートできません。もし、「行きたい高校がない…」、「将来やりたいことはあるけど、高校選び迷っている…」などどんな些細なことでもいいので不安なことや心配に思っていることがあれば積極的に担任の先生に相談しましょう！先生たちも様々な場面で悩むことがあります。いろいろな人に助けってもらったり、意見を聞いたりします。一人で悩まずにしてください。早い目に進路展望が見えていると、勉強する意味や、学校生活をよりよくしないと、行動が変わってくるはずですよ！

<進路学活の要点>

- ① 中学生の多くは進学を選択（全国的には98%！）
- ② 「合格できそう」で選ぶのではなく、高校の特色を見て判断した人が多い。
(家から通いやすいなどの環境要因も上位であった)
- ③ 進路は、「自己理解・情報収集・相談」を核として決めていこう！
- ④ 遅くとも12月には志望校決定！それまでにたくさん悩み、意思決定できるようにしよう！
- ⑤ 出願等の書類、申し込み等の遅れは許されない。普段から提出物の遅れがないように気をつけよう！
- ⑥ 公立高校を受検＝専願（受かったら必ず入学！）。公立高校受検には、推薦はありません。
また、公立高校は独自枠（面接や個別試験等を有する）、共通枠（統一学力検査と報告書）がある。
私立高校は、推薦・専願・併願の3パターン
推薦：学業や学校生活、高校等による基準が認められた場合。合格したら必ず入学。
専願：私立高校を第1希望とする受験方法。合格したら必ず入学。
併願：公立高校やほかの私立高校が第1希望の場合の受験方法。
- ⑦ 最終進路はこの時期から変わってもOK！ただし、軸がぶれると大変なので12月までに確定させる。
- ⑧ もうすでに担任の先生からも言われていると思いますが、気になる高校は説明会に必ず参加しよう！
→一回も参加せずに合格しても、雰囲気が悪い…、思っていた学校と違う…など後悔します。

公立前期独自枠を2校以上で迷っている、公立か私立推薦・専願で迷っているなどがあれば、**担任・学年の先生や進路担当に相談しましょう**

※すでに、“公立高校スクールガイド”及び“私学ガイド”を配布しました。いずれにも学校説明会等の予定が記載されていますので、自分の志望校の今後の予定を確認しておいてください。また、どちらの冊子も、今後進路希望を決めていくうえでの参考資料となりますので、**大切に保管し、よく読んでください。**